

「健康管理照査技術研究会」報告

平成 28 年 3 月 7 日、事務局

平成 28 年 2 月 29 日 15:00~16:45、「健康管理照査技術研究会」第 1 回総会が、新宿 TKP カンファレンスセンター（カンファレンスルーム 5C）にて開催されました。初代会長には、中央大学理工学部人間総合理工学科教授・大橋靖雄氏が選任されました。（選任メンバー詳細については[こちら](#)）

◆参加者：35 名

◆内容： ※登壇出演者は姓のみにて表記

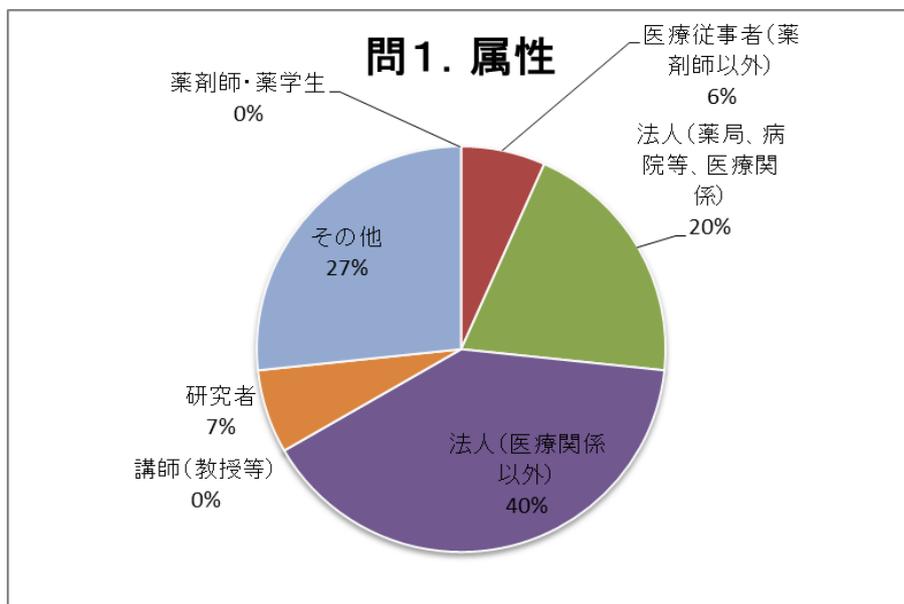
- ・報告（発足、趣意、会則、会の活動報告と今後の方向性）（報告者：塚田、田中）
- ・コアメンバー紹介&挨拶（笹津、津田、塚田、三輪、渡邊、三宅、岡本、西根、宇野、丸山）
- ・ヘルスケアコンサルティング¹実演（内山、塚田）
- ・会長挨拶（大橋）

◆アンケート結果

有効回答：15

※事務局の手違いにより、配布タイミングが遅れてしまった（会の中盤）ことも影響したためか、回収率は高くありませんでした。申し訳ありません。今後の戒めとさせていただきます。

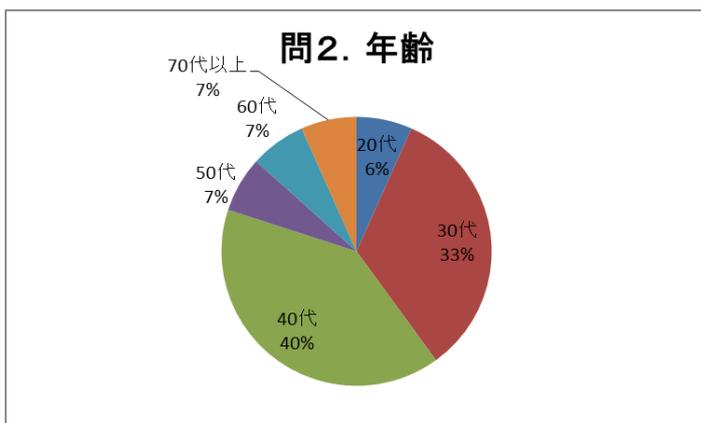
問 1. 所属（一択）



薬剤師・薬学生の回答はありませんでした（ただし、医療関係（薬局 or 病院）の方はありました）。講師の回答はありませんでしたが、別の欄（研究者、その他）を選択された可能性があります。

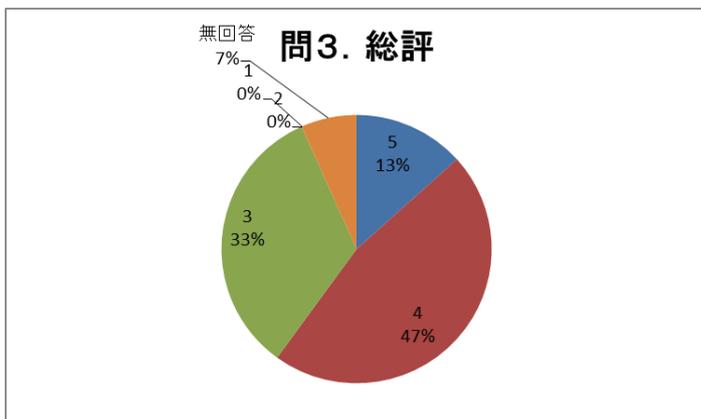
¹ 株式会社 HMCE が提供する薬局向け事業ソリューション。「健康管理照査技術者（ヘルスケアコンサルティングマネージャー©）」が薬局店頭にて実施する、一般生活者の健康の保持・増進のためのコンサルティングを指す。専用パッドにより提供されるアプリケーション「Vital Design System™ (VDS)」と、VDS により生成されるパーソナルヘルスケアマガジン『Espresso Healthcare©』を基に実施される。

問2. 年齢（一択）



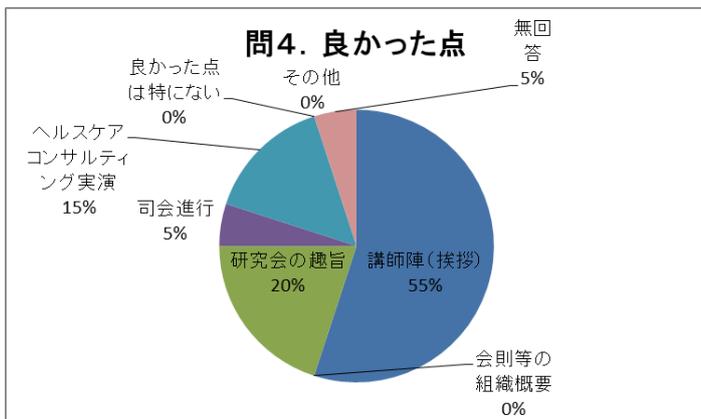
20～70代以上まで幅広い年齢層でした。
30～40代から多くの回答をいただきました。

問3. 全体的な印象（一択）



概ね満足しながらも、やや不満な点が残る、という結果になりました。

問4. 良かった点（複数回答可）



半数以上が「講師陣（の挨拶）」を選択しました。

「研究会の趣旨」を選択された方も含め、概ね会の趣旨にはご賛同いただけたものと推察します。

問5. 要望・意見（セミナーで取り上げてほしいテーマ等）（自由記述）

「統合医療」（50代、その他）

「薬剤師と他職種のネットワークを地域包括診療にいかにかすか」（70代以上、医療従事者）

「遺伝子について」（30代、その他）（30代、研究者）

「ヘルスケアバランスの整理と生物統計」（30代、研究者）

「学術的な内容で大変に勉強になった」（30代、法人）

統合医療や地域包括ケア、遺伝子、コホートやヘルスケアの概念そのものの更なる掘り下げ等、今後の課題とされているテーマや比較的新しいテーマについて、やはり問題意識が高いことがわかりました。

問6. 「あなたの健康習慣・秘訣」（自由記述）

「毎週末のテニス」（30代、法人）

「ポジティブに物事を考える」（30代、法人）

「瞑想・運動・食」（30代、研究者）

「疲れたらクエン酸を飲む」（30代、その他）

「ストレス・コーピング」（70代以上、医療従事者）（50代、その他）（40代、法人）

「怒りの感情をコントロールすること」（50代、その他）

「肉を食べすぎないこと」（50代、その他）

「特になし」（40代、その他）

一般的に言われる健康作りの三原則「食事・運動・睡眠」のうち、「運動」や「食事」に関するものが多く挙がりました。

「ストレス」や「こころ」に関することを多くの方が挙げています。

いっぽうで、あえて「特になし」と記述された方も、細かなことは気にしないという意味の表れではないかと推察します。

やはり「健康」を考える上で、「こころ」に関する領域は、非常に重要なテーマであるとみなさん考えておられるようです。

～慌ただしい中でご回答いただいた皆様、また、ご多忙な中をご参加くださいました皆様、
大変にありがとうございました。（事務局）